

「富山大学人文学部短期（1年：中級レベル）留学生プログラム（受け入れ）」要項
（2024年10月～2025年9月）

<授業科目と内容>

1. 受入対象学生

人文学部に受け入れる学術交流協定校からの短期留学生（特別聴講学生）

a 日本語に関する授業科目例

（2023年度現在）

最新の情報はウェブサイトでご確認ください。

2. 受け入れ期間

原則1年間とする。

3. 授業の概要

受け入れ留学生一人ひとりの興味・関心を尊重しながら、日本語・日本文化学習の指導と、専門性の指導がバランスよくなされるように、各人のレベルにあわせて個別にカリキュラムを編成する。

a. 留学生を対象とした日本語・日本文化に関する授業科目と、b. 人文学部で開講されている自分の所属するコースの専門科目の中から、各自の専門とレベルに合わせて授業科目をとる。ただし、この中級レベルのプログラムは、a. 留学生を対象とした日本語に関する授業科目（総合日本語コース（中級））を主に受講するようデザインされている。

指導教員からの個人指導を随時受ける。

総合日本語コース（中級）		
科目名	授業時間数	
	秋	春
文法・表現B	—	60
文法・表現B a	60	—
文法・表現B b	60	—
文法・読解B a	60	60
文法・読解B b	60	60
文法B	—	60
作文B	—	30
聴解・会話B	30	30
漢字B	30	30

科目名	授業時間数	
	秋	春
日本語	30	30
日本事情	30	30
異文化理解	-	30

*短期留学生だけのクラス編成は行わない。各自の日本語能力に応じたクラスを選択する。場合によっては一部、上級レベルの日本語・日本文化に関する授業科目を受講することも可能

である。上級レベルの授業科目内容は「富山大学人文学部短期（1年：上級レベル）留学生プログラム（受け入れ）要項」を参照のこと。

*専門科目及び「日本語」「日本事情」「異文化理解」は、富山大学>キャンパスライフ>Web シラバス（授業案内）に掲載。

*総合日本語コースは、富山大学>学部・大学院・施設>国際機構にシラバスを掲載。

b. 専門科目

人文学部で開講される自分の所属するコースの専門科目より各自の興味にあわせて授業科目を選択する。

人文学部における「教育研究分野」は以下の通りである。

哲学・人間学コース：哲学、人間学

歴史文化コース：日本史、東洋史、西洋史、考古学

心理学コース：心理学

社会文化コース：社会学、人文地理学、文化人類学、国際関係論

言語学コース：言語学、

東アジア言語文化コース：日本語学、日本文学、朝鮮言語文化、中国言語文化

英米言語文化コース：イギリス言語文化、アメリカ言語文化

ヨーロッパ言語文化コース：ドイツ言語文化、フランス言語文化、ロシア言語文化

(*詳しくは人文学部ウェブサイト参照
富山大学>人文学部)

<時間数>

秋期（10月～3月）と春期（4月～9月）に各15週開講、1コマ90分授業。

4. 修了要件

- 日本語・日本文化に関する授業科目と、
- 専門科目の中から、自分のレベル、興味にあわせて、一期8コマ以上、春秋期あわせて16コマ以上の授業をとる。それと同時に、指導教員からの個人指導を随時受ける。

指導教員による個人指導の中で各々に研究課題を定め、その結果を修了レポートにまとめる。

5. 指導体制

留学生の志望する専攻分野の指導教員が、学業及び生活面の個別指導を行う。また、チューターと呼ばれる日本人学生による学習／生活支援活動もある。

6. 交流活動等

様々な交流活動が実施されている。

7. 修了証の発行、単位互換

- 1) 修了者には修了証、及び、成績証明書を交付する。
- 2) 学術交流協定校には単位互換の制度がある。

8. 受入学生の資格、条件等

人文学部短期（1年間）留学生として受け入れることができるのは、原則として以下の要件を満たす者とする。

1) 在留資格

日本に留学生として在留する資格のある者

2) 日本語能力

国際交流基金及び日本国際教育支援協会による日本語能力試験のN2相当以上の日本語能力を有する者（ただし、N1相当であることが望ましい。）

3) 研究学習歴

人文学部の定める書式による研究計画等を提出期限までに提出し、選考の結果選ばれた者。

問い合わせ先

担当部署	富山大学人社芸術系事務部 人社系学務課（人文学部担当）
大学所在地	〒930-8555 富山県富山市五福3190
TEL	076-445-6138
FAX	076-445-6142
Eメール	jinbunk@adm.u-toyama.ac.jp